



いつついし自治会報 514号

2021年(令和3年)9月号

教育青少年部会

「親子陶芸教室」開催



7月24日(土)、城端陶芸工房において、教育青少年部会主催の「親子陶芸教室」が開催

され、15名が参加し陶芸を楽しみました。

南砺陶芸教室の運営委員のみなさんから、完成までの工程や作り方などの説明を聞いた後、それぞれが思い思いの作品作りに挑戦し、コーヒーカップやお皿など、自分だけのオリジナルの作品を作りました。

た。

制作した作品は、素焼きし釉薬をかけ本焼きをして完成し、夏休みが終わる8月28日(土)に作品が手渡されます。希望者は、釉薬がけも体験しました。

素敵にでき上がった作品は、10月の交流センターまつりで展示される予定です。



「福光交流センター上映会」



福光交流センター上映会は、毎月第2水曜日午後1時30分から1階ホールで実施しています。(ただし8月のみ第1水曜日：盆踊りの開催予定としたため)



8月4日(水)今年度5回目の上映会。県下に熱中症警戒アラートが発令される猛暑の中で開催しました。「この暑さ!参加者はいらっしゃるのか?」との心配をよそに、定刻には十数名の方々がお見えになり「洋画」を鑑賞。夏休み期間でもありお孫さんと一緒にとの主催者側の思惑は外れましたが、楽しく見ていただきました。

いろいろなジャンルのものを今後も上映していきたいと考えています。ご意見・ご希望等ございましたら事務局または各町内の生涯学習部員にお伝えいただければと思います。

次回上映会は9月8日(水)です。お楽しみに!

第4回町内会長会

いつつし自治会
7月町内会長会

7月21日(水)、いつつし自治会第4回町内会長会を福光交流センターで開催しました。

1. 蟹野会長より次のような話がありました。

- ・南砺消防署よりお願いがありました。7月19日(月)にも火災が発生し、大事には至りませんでした。南砺市においてすでに17件の火災が発生しております。今年は特に火災が多いということで、火の始末を徹底し、火の大切さと火の怖さをもう一度、確認していただくように、町内の皆さんにお知らせください。
- ・コロナワクチン接種について、65才以上の方の接種率は7月20日(火)時点で1回目88%、2回目67.5%の接種率となっております。64才以下～60才までの方のコロナワクチン接種も始まっておりますが、南砺市においても新型コロナウイルスの感染者が増えていますので注意してください。

2. 水口市議から次のような話がありました。

- ・南砺市において、火災が多く発生しております。各町内においても気をつけてください。砺波市には災害見舞金制度はありますが、南砺市は災害指定にならないと災害見舞金が支給されませんでした。観音町の火災以降、市は今年1月までさかのぼって、生活している住宅が火災または自然災害により甚大な被害を受けたときには、被害状態に応じて、10万円、5万円、2万円の見舞金が支給されることになりました。

た。

- ・荒町と栄町の通学路の街路樹が茂りすぎて歩行者や車の確認がしづらく危険であるということで、枝や草等を伐って、歩行者や車の確認がしやすくなりました。
 - ・道路の破損について、荒町から谷村建具店にぬける道路の破損箇所にも簡易舗装をしました。道路の破損箇所があれば、早急に対処いたしますので連絡してください。
- ### 3. 総務部会から各町内会での除雪対策組織作りのスケジュールについての説明がありました。
- ・地図の作成(1枚目は空き家・高齢者世帯に目印、2枚目に町内に流れる用水路を記入)をして、話し合う資料とします。町内で話し合うことから始め「地域の雪の困りごとは何か?」意見を聞いて共通の課題を発見し、解決方法を絞り込んで実施する活動内容を決定したうえで、11月の除雪対策委員会で話し合うことといたします。
 - ・町内会長より、集合住宅の方が歩道の除雪を町内でしていただけないか、コロナ時期に会合などできない、空き家は昨年調査をしたのに今年も?という意見がありました。空き家は毎年変化しますので調査をお願いします。
 - ・各町内の課題や困りごと、町内会長会議議題提案書の作成、南砺防災アプリの活用などの協議事項がありました。

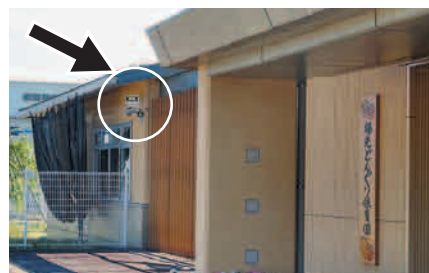
福光どんぐり保育園にLED照明灯2基増設

小雨降る薄暮の中、次々とお迎えの車の列。ある日のどんぐり保育園の一コマです。

当保育園の玄関前の駐車場はほぼ満車で、駐車場の照明は遠く保育園の玄関から漏れてくる光だけです。非常に暗い中での迎えの保護者と園児の安全が不安視される状況でした。

以前から保護者より玄関前駐車場に照明設備の増設の要望があり、今回、400ワットのLEDの照明が保育園正面両サイドに2基増設設置されました。自動点灯装置により点灯され、園が閉まる午後7時過ぎまで点灯されます。

明るく視界がよくなりますが、園内の走行は徐行運転に徹して頂きますようお願いいたします。



福光の町内名の由来 (Part 4)

14. **天神町** 天保11年(1840)天神町54軒とある。安政4年(1857)には天神町組、百姓7、頭振17、借家2、他村より借家11で計37軒あったという。

- ・黒石 巴塚に三個の黎黒な石があり、この付近一帯を称する。

- ・川原 小矢部領を開拓した土地であることから、川原というのであろう。

「かわら」はかわはらの訳、川辺の水がなくて、砂石の多いところ、川沿いの平地ということである。

- ・馬場 日焼けと天神町天満宮の後方、下江用水の堤となっているところに馬場という地がある。両方とも往古、石黒氏の馬場跡であったといわれる。ババは、崖、広場、馬の調練所の意味である。

- ・山谷 ^{やまや} 字黒石の内にある。文明(1469～1487)のころ石黒右京亮の家臣屋山谷某が居住した跡であることから山谷と称する。

- ・狐塚 高宮橋のほとりに、往時狐狸の生息した小丘があったことから称した。田の神は食物の神として保食神^{うけもちのかみ}、豊受大神^{とようけ}、大宣都比売神^{おおつげ}である。狐塚は稲作増産を祈った田の神信仰の現れの記念塚であろう。

- ・豆田島 享和2年の変地場所改樋清図によれば、天神町の上の水門より東側へ福光村豆田嶋用水分と書いてある。このことから小さな田が開墾されてそこへ用水を引いたのであろう。

- ・御坊田 善徳寺の御仏田が、天神町地内小矢部川上流川畔の御坊田にあった。御坊とは坊さん、すなわち僧侶の汎称であるが、福光地方では真宗寺院の独占用語となっている。今は城端

に移った善徳寺があった頃の御仏田があったのであろう。

15. **新町** 福光新町村は慶安4年(1651)に福光村の領内であった小矢部川畔の段丘で荒廃した箇所石垣を施し、小矢部川から土砂を盛り、ついに三千歩を開拓した。開拓者は阿曾三右エ門である。寛文11年の屋敷割替の記録によると、福光新町は歩数五千五百三歩、役銀九百八十五匁八分九厘八毛、家数五十八軒とある。

また、近世福光小史によると、天和2年(1682)になるという説もある。

- ・上新町 新町を二つに分けて(新小路より)南の方を上とした新町の事である。

- ・下新町 新町の北の方を下といい、下新町とした。

16. **東新町** 元新町下幅といていたが、戸数が増え新町と別れて新町の東に位置するので名付けられた。

17. **味噌屋町** 今も残っているが味噌を作っておられる店があったので、味噌屋のある町ということである。

18. **川原町** 本町よりも一段低い地であり、下幅(したはば)と称していたが、付近の田園一帯が川原と唱えられたことにより「川原町」と改めた。

- ・片原町 新町と味噌屋町の下の方に家ができ、片方が川原だったのでつけられたらしい。

- ・猫島 川原町から天神町に及ぶ川原に大変狭い猫島競馬場があり、その土地を猫の額ほどの島ということにつけられたらしい。

「出稿・清玄寺八郎氏」

防犯カメラ設置

8月5日(木)、福光交流センター入口に犯罪等を防止するために防犯カメラを設置しました。





「初めての中国語」 講座

9月12日(日)開講

- 毎週日曜日 午前10時から11時まで
10回コース
- 会場は福光交流センターや青少年センターなどを
利用

- 受講費 1人10回コースで4,000円、
別途教科書代2,640円必要です。
- 対象：中国語が初めての方 年齢を問いません。
小中学生も可
- 申込場所：福光交流センター窓口にて、実施要綱と
申込書があります。
- 申込締切りは、9月6日(月)
- 定員：10人(9人以下の場合中止)
- 主催：南砺市福紹会 後援：いつついし自治会

将棋教室に参加しませんか！

◆鶴友会将棋クラブでは……

毎月第1木曜日・第3木曜日の午後1時～3時まで福光交流センターで
将棋教室を開催しています。将棋好きな方の参加をお待ちしています。



第2回 花の講座募集案内

いつついし自治会
生涯学習部会

- 日 時 10月16日(土)
- 内 容 スワッグ作り
- 時 間 午後2時より開催
- 場 所 福光交流センター1階ホール
- 参加費 2,000円(当日集金)



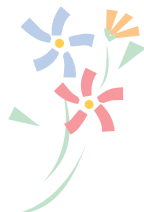
スワッグとは、花や葉を束ねて壁に掛ける飾りのこと
です。

素朴な雰囲気がインテリアに馴染み、ナチュラルに飾れるのが人気です。立てかけたり、置いたり、色々な飾り方で楽しむことができます。

※材料費助成してあります。
どしどしご参加ください。

- 事務所に申込用紙があります。職員が留守の場合は、玄関前ポストに投函してください。Faxでも受け付けを致します。(※Faxの場合、読み取れない場合があるのではっきりお書きください。)
- 第3回花の講座正月飾り作りは、12月18日(土)に予定しています。

福光交流センター
電話 52-4684
Fax 88-0226



(福光短歌会)

食事終え我が部屋迄への縁を行く 季の移ろい確かめながら
災害は忘れぬ内にやって来る 土石流の熱海人事ならず
任期終え今朝も只の人 祝のランが白く光りて
参る人少なくなりし里の墓 花とローソク多めに持ちゆく
アブラゼミ第一声に走り出で 梅雨明け知りし力を称ふ
梅雨明けて急に気温が上がりたり 熱中症に気をつけるなり

七月詠草

(福光俳句会)

座せばすぐ寄り来る猫を抱き端居
日傘差す男へ我は目を背け
荒梅雨の爪痕深し悲報聞く
朝茜愛でる至福や胡瓜挽く
蝸牛通った後に銀の道
篠笛に続き唄ひ手夏舞台
大雨を越えし野菜の夏の膳
砺波野に青き波立つ半夏生

山下	安田	名村	利川	尾崎	大浦	梅島	駒形	宮岸	桃野	竹本	斎藤	宮崎	山崎
喜就	富子	五月	輝	いつ子	昌美	くにを	隼男	昇	瑞恵	幸子	よしえ	平作	芳子

福光地区 9月行事のお知らせ

- 9/7(火) レントゲン検診・胃がん検診
午前8時30分～午前10時30分
 - 9/8(水) 上映会 午後1時30分より
 - 9/10(金) そくさい会 午後1時30分より
 - 9/17(金) 福寿大学 午後2時より
 - 9/21(火)～30(木) 秋の交通安全運動
 - 9/22(水) 町内会長会 午後7時より
 - 9/24(金) そくさい会 午後1時30分より
- ※レントゲン検診は指定時間にお越しください！